

最近見つけた希少植物



コイケマ

Cynanchum wilfordii

東京都南多摩 VU (絶滅危惧II類) 指定
長池公園の外周緑地で、元気に花を咲かせている個体が見つかりました。丘陵地～山地の林縁に生育するガガイモ科のつる植物で、出会うことが難しい希少な種類です。この場所では、アカスツチバチやナミハナアブが蜜を求めて盛んに訪花していました。



ホドイモ

Apios fortunei

東京都南多摩 NT (準絶滅危惧) 指定
東中野公園の外周緑地で数株を確認しました。別所・堀之内周辺の谷戸では点々と見られるものの、松が谷周辺では初めての発見となります。やや湿った林縁に生育するマメ科のつる植物で、小葉の枚数がふつう5枚となる点が特徴です。盛夏にひっそりと開花します。



アカハナワラビ

Botrychium nipponicum

東京都南多摩 VU (絶滅危惧II類) 指定
東中野公園の林床で1株の生育が確認されました。シダ植物といえば、どれも一様に緑色というイメージが強い中、本種は秋から冬にかけて鮮やかに紅葉する変わり者です。本種をはじめ、これまでに記録の無かった暖地性のシダ植物が新たに見出される事例が増えていきます。

これまでの調査で、東由木地区公園の植物相が少しずつ明らかとなってきました。現在でも毎月のように新しい発見があり、驚きと感動は尽きることがありません。今回は、最近見つけた植物の中から、特に希少性の高い種類を厳選してご紹介します。(※生育場所の詳細に関する個別のご質問は、自生地保護のため控えさせていただきます。)



ミゾコウジュ

Salvia plebeiai

環境省および東京都南多摩 NT (準絶滅危惧) 指定

堀之内東山そらみの森緑地の湿生草地で見つかりました。休耕田や河川敷の湿地などに生育するシソ科の二年草です。生育に適した環境が、河川改修や宅地開発などによって激減していることから、環境省の準絶滅危惧種にも指定されています。



サガミラン

Cymbidium nipponicum

環境省 EN (絶滅危惧IB類) 指定

長池公園の林縁で3年ぶりに発生が確認されました。関東地方を中心に分布する野生ランの仲間です。明瞭な葉を持たない菌従属栄養植物の一つで、7月頃、地上に姿を現す様子はまるでキノコのように。近縁種のマヤランとともに、多くのファンの目を楽しませてくれました。



アズマザサ

Sasaella ramosa

東京都南多摩 NT (準絶滅危惧) 指定

管理作業中に発見、その後の調査で松が谷地区の複数箇所に分布していることが判明しました。おなじみのアズマネザサと名前も姿もそっくりですが、別属の種類。全体に小さく、上部の節から1～3本の枝を出すことや、葉幅が広く、裏側に微毛が生えることなどが特徴です。



サトメシダ

Athyrium deltoideifrons

東京都南多摩 CR (絶滅危惧IA類) 指定

いせまいり公園の外周法面で、水湿地性の貴重なシダ植物が見つかりました。何の変哲もないシダのように見えますが、孢子囊の縁が毛羽立つ点や、著しく長い葉柄を持つ点がポイントです。東京都では、湿地の減少などが原因で多くの自生地が失われてしまったといわれています。

『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともに紹介していきます。